



家出した人妻を
拾った夜



家出した人妻を

拾った夜

バイト先の
駐車場の片隅で

俺は久しぶりに
果歩さんの
姿を見かけた

勤務時間中では
あつたけれど

どうしても
放つては
おけなかつた

第1話
『拾われた人妻』

本当に
お邪魔して
いいの？

悪友たちが
毎週のように
押しかけて
来るので

来客には
慣れつこ
いですよ







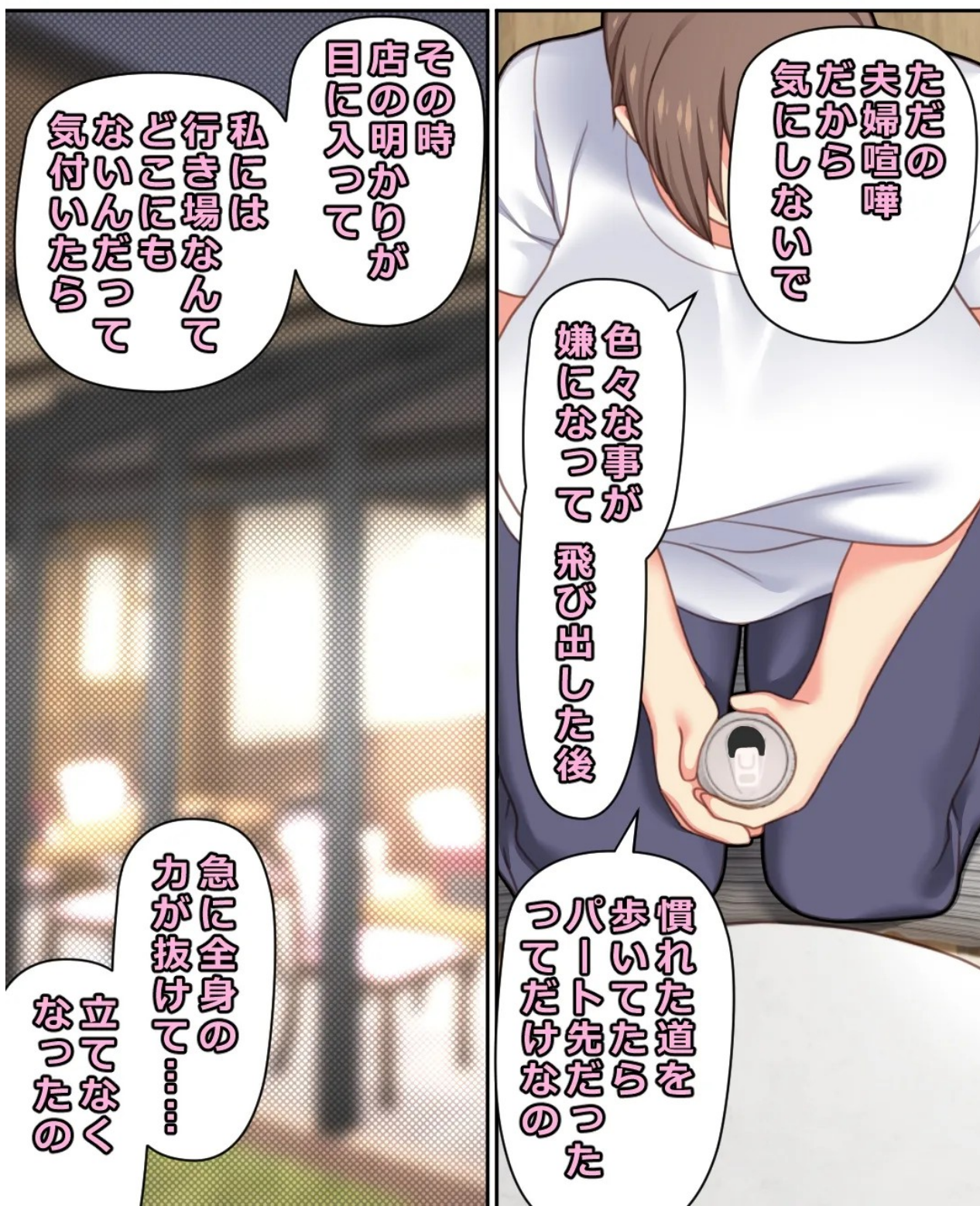


いやだ

そんなに
顔に出てた？

誘い方が
強引だと
思っただら……

心配をかけて
いたのね



ただの
夫婦喧嘩
だから
気にしないで

色々な事が
嫌になつて
飛び出した後

慣れた道を
歩いてたら
パート先だつた
っだけなの

その時
店の明かりが
目に入つて

私には
行き場なんて
どこにも
ないんだつて
気付いたら

急に全身の
力が抜けて……

立てなく
なつたの



喧嘩の原因は
何なんですか？

やだ……

そんなこと
聞かないでよ

どうしても
聞きたいんです



浮気……
されたのよ

それで私
初めて夫に
逆らったの

浮気っ!?

そんなの
怒って
当然でしょう

きり
きり

その後はもう
めちやくちゃん
なつた

夫は怒り狂って
物を投げつけ

暴力まで
振るわれそうに
なつて……

逃げ出すしか
なかつたの







ものすごく
迷惑だし

本当は
断るべき
なんだけど

お財布すら
持たずに
飛び出したの
から
困っていた

寝る場所
なんて
床でいいから

今晚だけでも
泊めて
くれると

……助かるわ



今晚だけなんて
言わずに
一生泊まって
いいですよ

ふふっ……

なによそれ

くすっ



コンビニで
お泊まりセット
みたいなのを

適当に
買ってきましたので
お風呂に入って
待っていてください

ええっ！

待って

悪いわよ



待ちませんよ

着替えも
用意しますから

脱いだ服は
洗濯機に入れて

ゆっくり
風呂に
入って
ください



何から何まで
手間を掛けて
ごめんなさい

本当に……
感謝してるわ

謝らないで
ください

お礼に一杯
付き合っ
てくれれば

充分ですよ



お泊まりセットに
下着とかも
売ってるっけ？

もういいや
何でもかんでも
買っちゃおう

ま...まな
ーぽんぽんも
買っちゃおうか...



うおおっ！

ちっ

違うのっ！

はっ

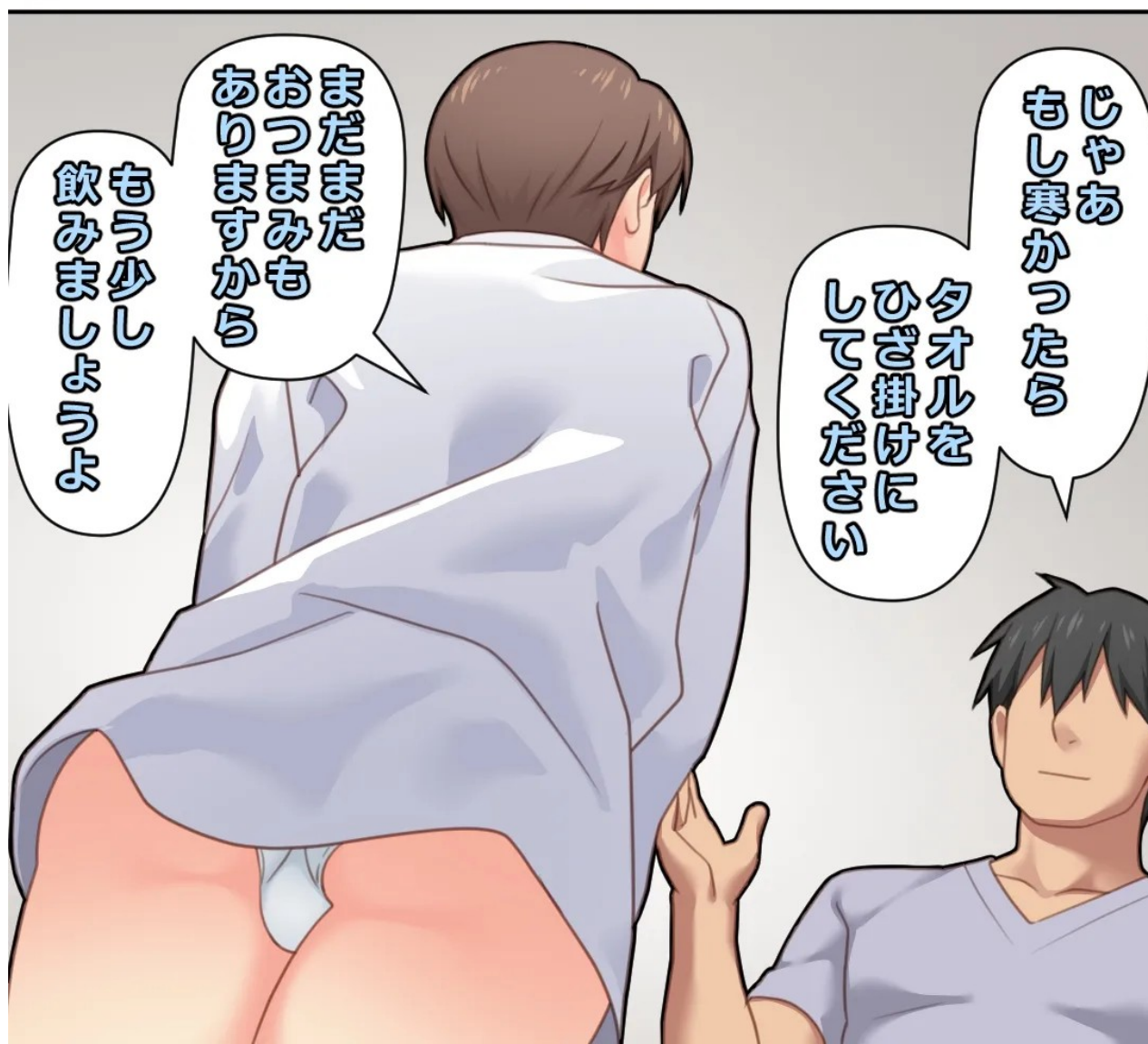
はっ

がんばったけど
貸してもらった
ジーンズに……
そのお……

どうやっても
おしりが
入らなかったの

第2話

『はち切れそうなシャツ』





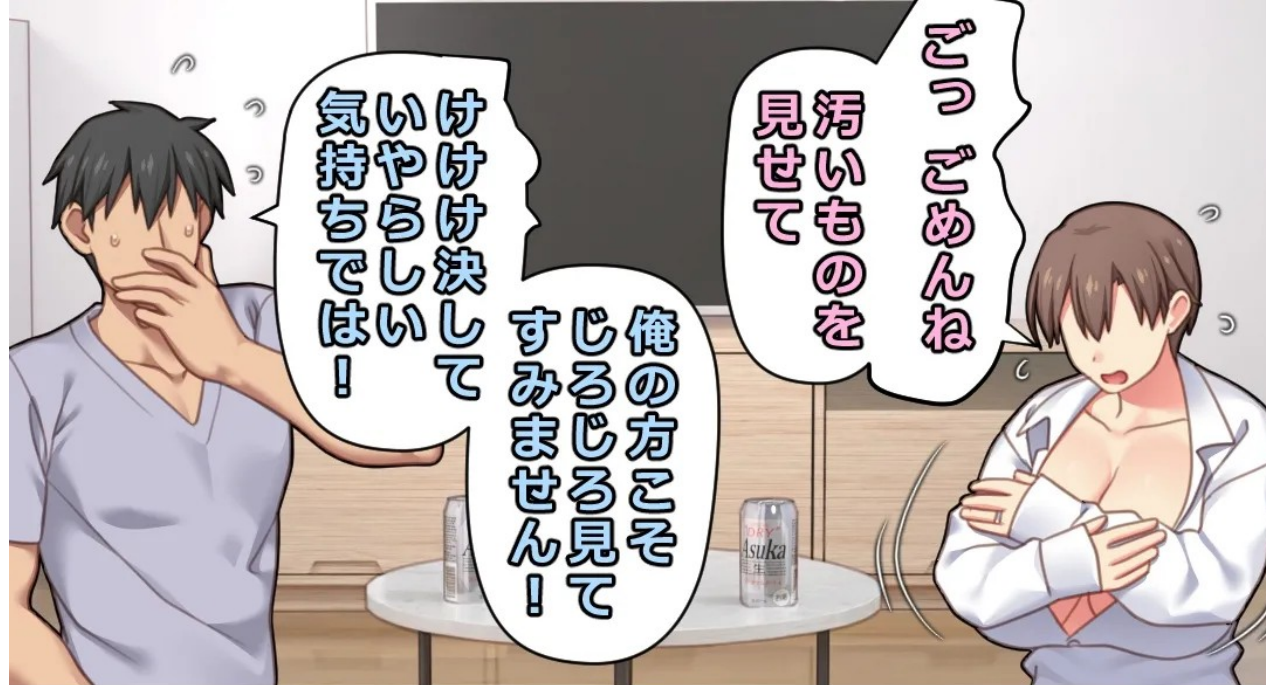
こんなに
穏やかな気分
で夜を過ごすの
はいつぶりだ
ろうか？

勤めていた
フアミレスの
後輩という
ただそれだけ
の関係なのに

彼との時間
があまりにも
心地よくて

私は
すっかり
しまつてい
た





ごうごめんね
汚いものを
見せて

けけけ決して
いやらしい
気持ちでは！

俺の方こそ
じるじる見て
すみません！



そんなに
慌てなくても
わかってるわ

夫にも
だらしない
身体で
気持ち悪いって

何度も
言われたもの

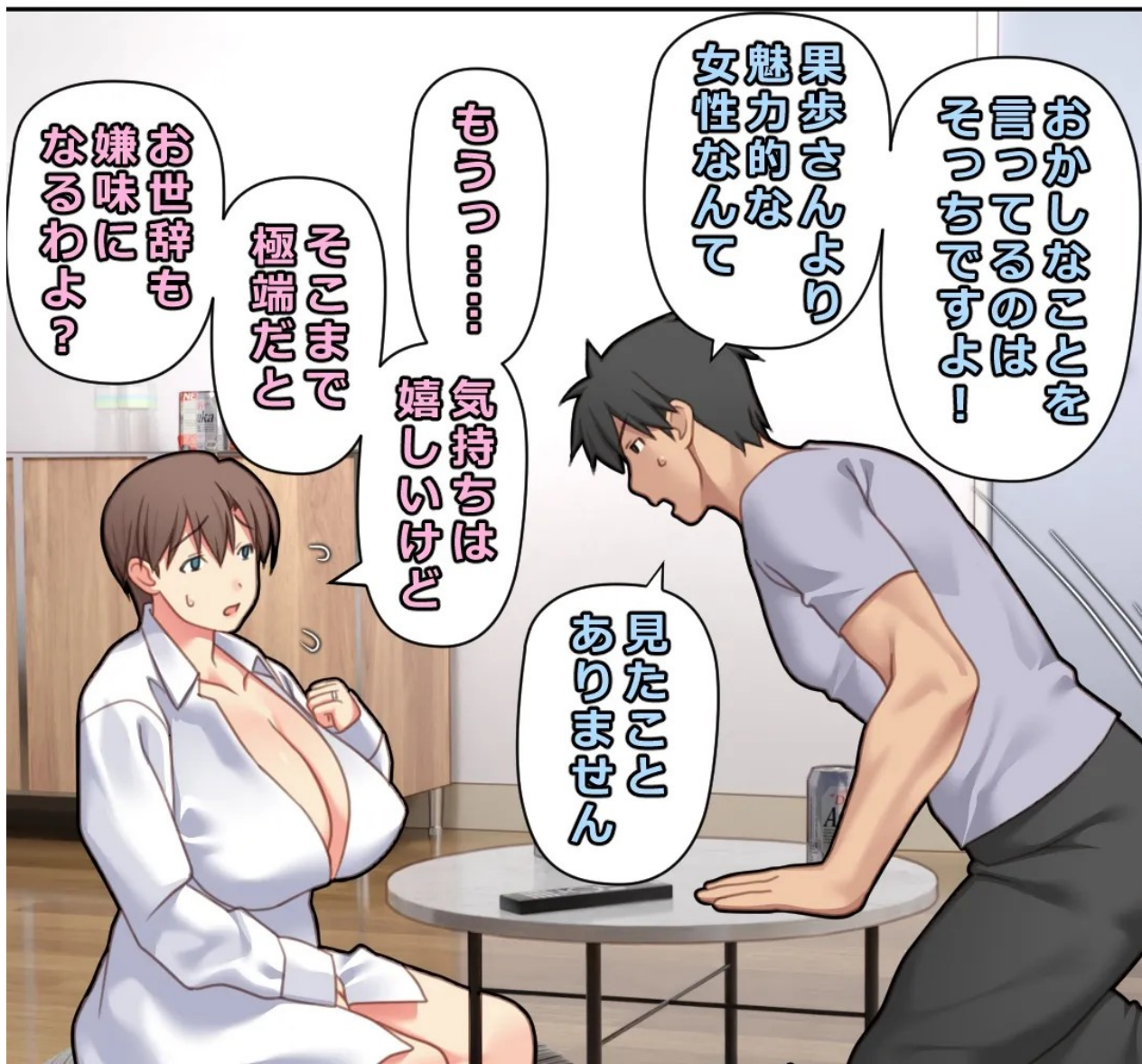


!?

爬虫類にしか
欲情しないとか
そういう特殊な
変態なのか？

聞いてるだけで
最低の奴なのは
わかるけど……

？





じゃあ
いいですね？

果歩さんの事を
Hな目で見て
欲情しても



お世辞？



変なところで
意地を
張るのね？

職場でもあんなに
モテモテだったし

おみさんにな
興味なんに
ないでしょ？



むしろ
興味しか
ないですよ

俺が欲情したら
責任取って
くださいね？

そこまで
言うなら









。。。。。。

はーん

わーん

だわ





夢にまで見た
果歩さんの裸
すごく綺麗です

やめて……
変なこと
言わないで

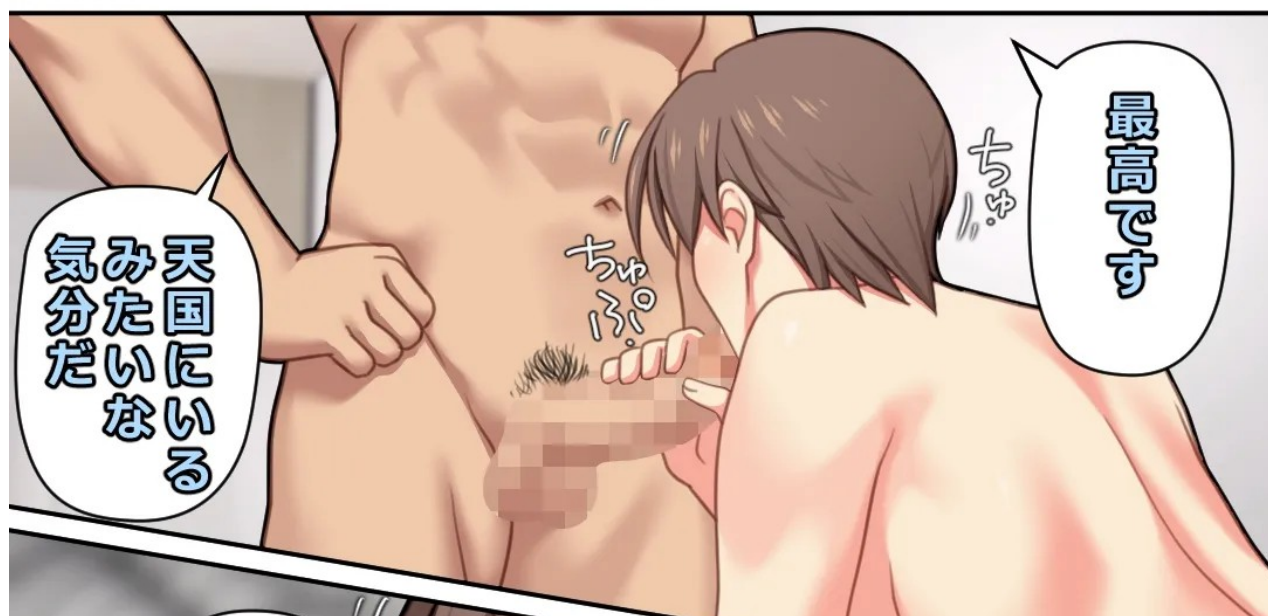
まだ疑って
いるんですか？

本気で
言ってる
だから
困ってるのよ

私が……
いつても
こんなこと
してると
思わないでね

夫以外とは
したことないし

こっ
これは只の
浮気への
仕返しみたいなの
ものだから





だって……

はあ？

いつもは
勝手に口を
使われるだけで



自分から
舐めるのなんて
初めてだから

怖いし
恥ずかしいのよ

ちゅっ

ちゅ
はっ

聞けば
聞くほど
最低の男ですね

明日俺が
こっそり
殴りに
行きますよ



やめて

今はそんな話
しないで

そうですね

今は
果歩さんの
裸を見ながら
気持ちよく
イキますね



イクって……

もう
出せるの？

本当は
もつと
舐めて欲しい
ですけど

不慣れな
果歩さんに
長くさせるのは
申し訳ない
ですから



ありがとう
頑張るわね

ああ……
自分が
信じられない

こんな若い子の
あれ……を
舐めるなんて



嘘っ!?

まだ大きく
なるなんて

そんな顔も
綺麗だ……

口に
出しますよ
果歩さん







おはさんの

身体を見ても

萎えないのね...

トキ
トキ



若い子って

いれが普通なわん。





がっかり!?

果歩さんが
どんな扱いを
受けてきたのか
聞くまでもなく
想像できて
腹が立ちますね



はあ...

でも....

あなたにまで
がっかり
されたくないの



ちっ
違うのよ

私は
本当にへただし

セックスの
良さなんて
まったく
理解してないの

こんな私と
したって—





ひゃあっ！
んっ……うっ

舌なんて
入れちゃ
だめなのっ！



ほら……
こんな風に

唇の使い方が
上手だっ
て評判だし

舐めるのは
得意なんです



あああっ！

私には
刺激が
強すぎて

やっ……
やめて

そうですね

たっぷりと
舐めるのは
次回の
お楽しみに
しましょうか



好きにして
いいから
避妊だけは……

もうっ
いいわよ



あ……あぁ

本当に
する気なの？

怖がらないで

果歩さんは
とても
素敵な女性です



ちゃんと
付けましたよ

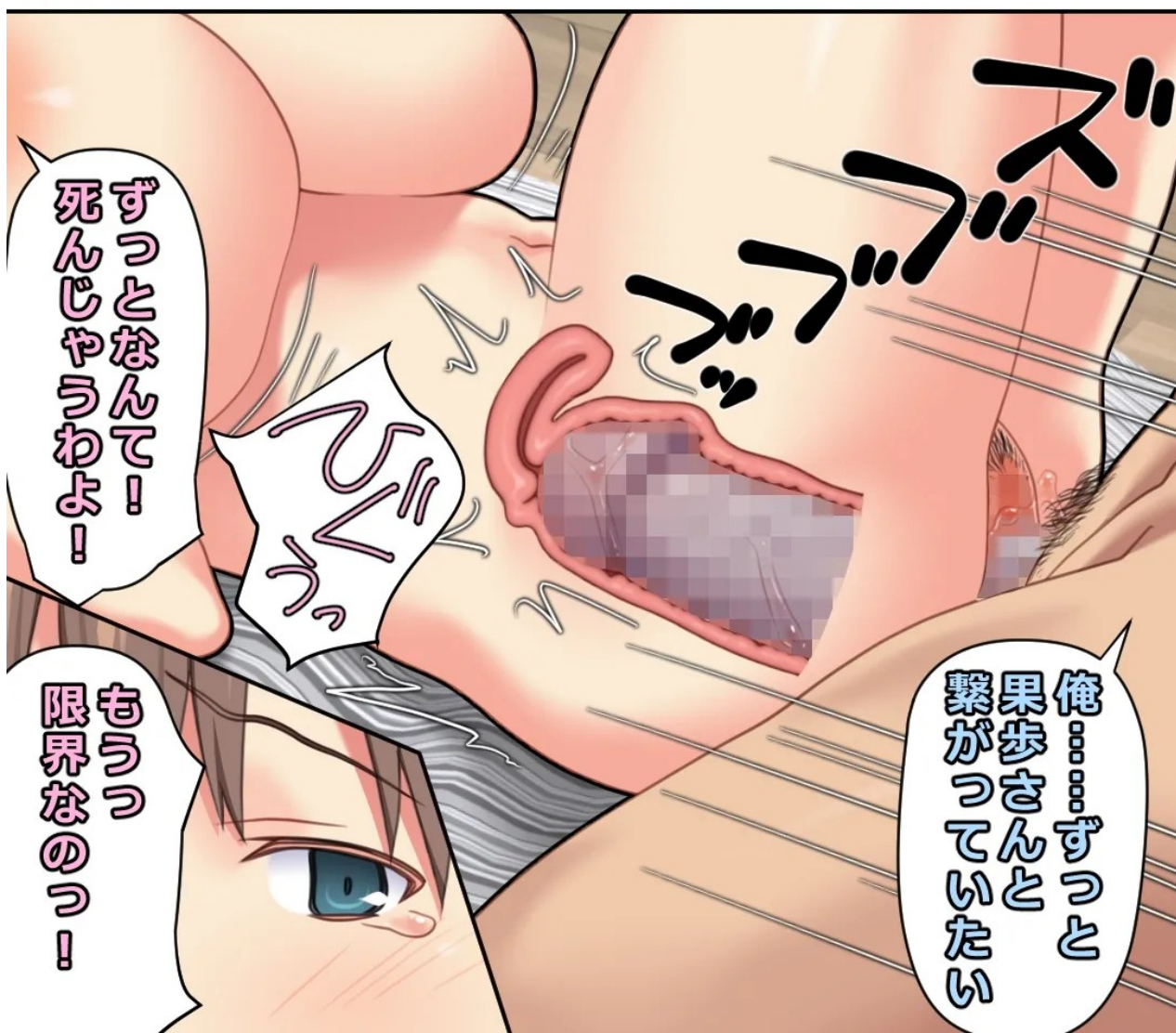
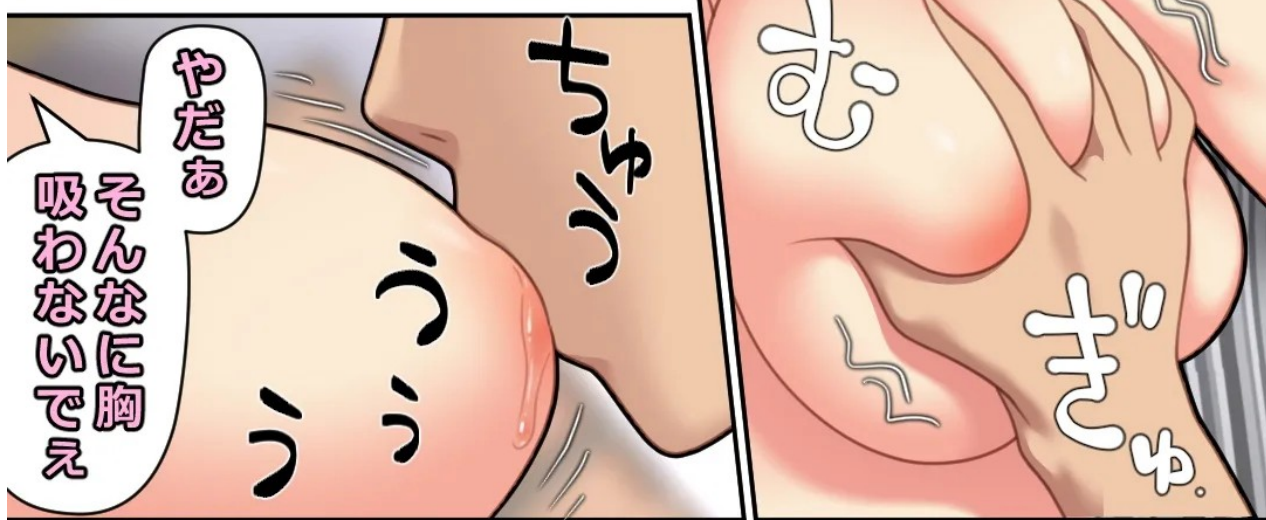
ん
ぴちっ

恥ずかしいから
見せつけないで

果歩さん……
好きです

なっ!?





逃げちゃ
ダメですよ？

やっ

やめっ

そんなに
緊張しないで
ください

果歩さんの中
たっぷりと
濡れて
きましたよ

いやあーっ！

私……
こんな感覚
知らないのっ！

これ以上
激しく
しないで！

たとえ
そうだと
しても
言わないでっ！

少しずつ
馴染んできて

深く入るようにな
ってききましたね

たわんっ

たんっ

もつと
俺を信じて
ください

だって……

頭がついて
いかないのよ

パート先の
男の子に
抱かれる
なんて……

そんなに
入れたら……
壊れちゃう！

もう奥まで
来てるって
言っただでしょ！？





キス……
されちゃった

はあ……

ふあ……ん

はむっ
はむっ
はむっ



ちよつとで
いいから
休ませてえ

さつきから
背筋が
ゾワゾワして
変なのっ！

それで
いいですよ

俺もイキますね

ええ……嘘！？

イツちゃうの？

ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ

ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ







私の体で

本当に
射精する
なんて

はあ、

はあ、

信じられない

はあ、

はあ、



俺……
ついさつき
決めたんです

最低の男から
果歩さんを
奪い取るって

ズ
ル
ル

ル
ッ



心も体も

「寝取って」
見せますから

ズ
ル
ル
ッ
た
び

なに
馬鹿なことを
いつてるの？

はあ

は...

今夜は...
変なことにな
つちやった
けれど

私みたいなの
おばさんに
深入りしちゃ
...だめよ？





第4話

『穏やかな気持ちの夜』

どうして
こんなことだ……





だって
昨日までは

あなたの事を
好きでもない
クソ男と一緒に
寝てたんでしょ？

だったら

俺と寝る方が
穏やかに眠れる
はずですよ

なんなの
その理屈……



さあ
目をつぶって
ゆっくり
息を吸って……

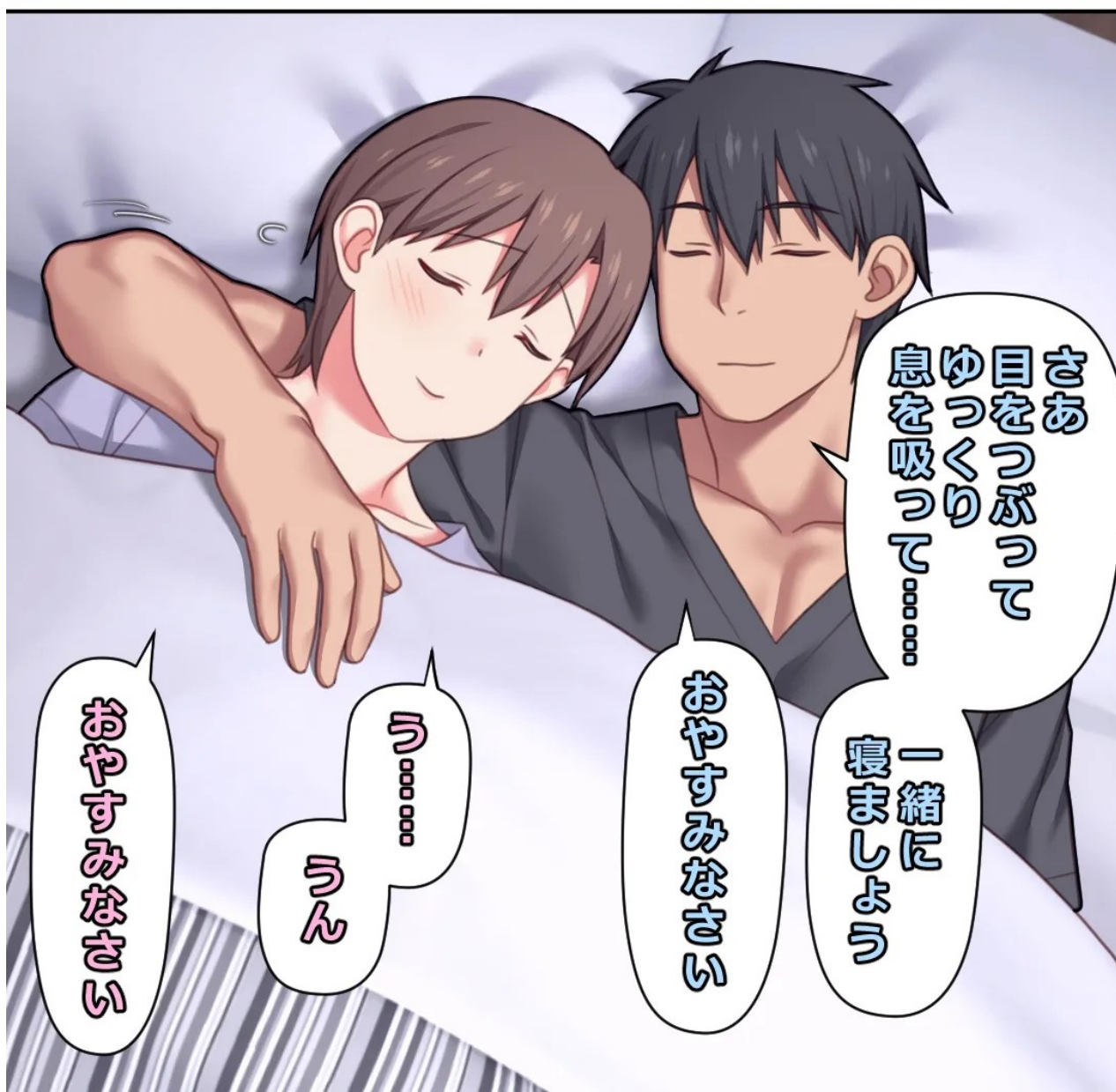
一緒に
寝ましょう

おやすみなさい

う……

うん

おやすみなさい



初めて訪れた
他人の家なのに

いつのまにか私は

自宅で
寝る時よりも
ずっと
深い眠りに
ついていた





起きましたか？

おはよう
ございます

うわっ！



びゅん
びゅんした

そうだ……私

泊めて
もらったんだ

おはようの
キスしても
いいですか？

しません！

びゅん
びゅん

か

は



浮気とか
色々あって

シヨックで
混乱して……

昨日の夜は
酔っていた
というか……



あれ？
昨日って
そんな
感じでした？

私も
軽率だったわ

もう
あんな過ちが
起きないよう
にするからっ！

あなたも
昨夜のことは
忘れて……

きゅ



……過ち？

ずっと
懂れていた
女性が

俺の愛に
応えてくれた
記念日ですよ？

Hな事をした
だけでしょ!?



とっ
とにかくっ！

昨日みたいないないの事は
もうやらないの！

心から
感謝してる
けれど

私はもう
帰るから……ね

だめですよ

不幸になるのが
分かり切って
いるのに

帰らせるわけが
ないでしょう

泊めてもらった
だけでも
充分なの……

いい歳をした
大人が
学生のあなたに
頼るなんて
ありえないわ

失礼ですけど

俺の方が
果歩さんより
強いし

あなたの
世話をやく
ぐらいは

片手間の
余裕ですよ

俺のことを
嫌ってないなら

もう少しだけ
ここにいて
ください

きっ

嫌いに
なるわけ
ないでしょ

だったたら
果歩さんが
元気に
なれるまで

ここに
いてください

さあ

シャワーを
浴びてから

一緒にご飯を
食べましょう





パート先でたまに
雑談したぶん、
関係なめに

一緒にいたいとか
憧れていたとか
本当なのかな？

身体が目当て
って事は
ないよね？

じ
は

あー
うー

いい歳をして
家出したあげく

男の子の家に
逃げ込むなんて

どれだけ異常で
間違った行為か
理解しているのに

どうしても

夫のいる家に
帰る気には
なれず

彼の好意に
甘えてしまった

第5話 『好きにならないで』





えっと……
おかえりなさい

新婚みたいで
嬉しいです！
ただいま









楽しく趣味を
満喫していた
だけなので

果歩さんが
気にする様な事は
何一つ
やってませんよ



気持ちほど
嬉しいけど

これ以上
負担を
かけたく
ないの

気持ちなら
嬉しいなら

いいじゃ
ないですか









キスが……
長い

はっ



果歩さんの
ことが
好きですから

だめっ！

好きに
ならないで

ごちっ！

胸……
触らないで

む

ぎゅ

そんなのは
何の障害にも
なりませんね

人妻なのよ？



どこなら
いいんですか？

全部だめっ！



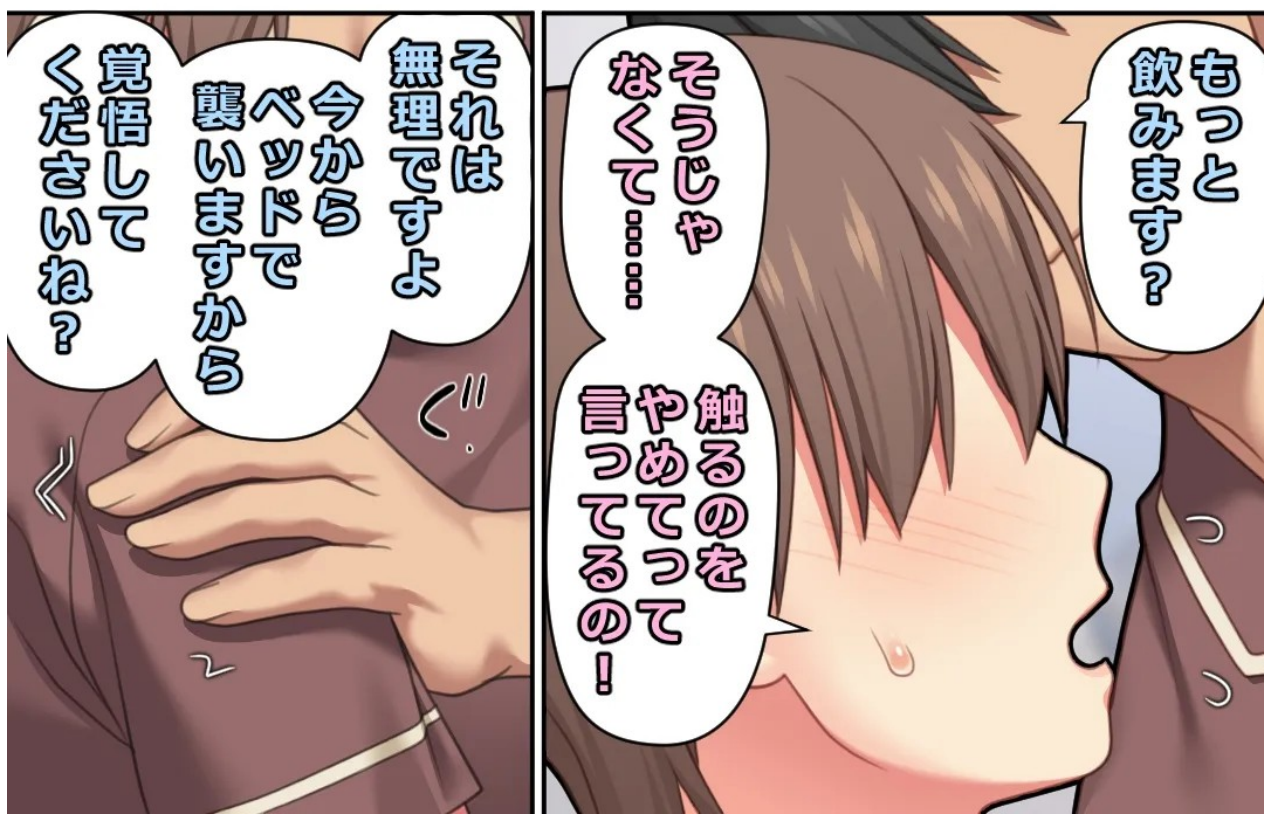
でも
反応して
ますよね？

果歩さんの顔
すごく赤く
なってますよ

むに
むに

今日は
酔ってないから

恥ずかしいのよ



もっと
飲みます？

そうじゃ
なくて……

触るのを
やめてって
言ってるの！

それは
無理ですよ

今から
ベッドで
襲いますから

覚悟して
くださいね？



あれ？

俺の
うぬぼれ
でした？

ひゃっ！

スル
スル

でも
どんな顔を
していても

果歩さんは
綺麗ですよ

な

な

な

何してるの？

なで

なで





ちっ
ちっ
違うわよ

どうせ
するなら

早く
終わらせ
て
欲しいだけ

ああ……
もうっ！

あなただって
とつくに
その気
なんでしょ？

もちろん

俺は
いつでも
抱きたいも
ですよ？

でも

果歩さんには
ちやんと
感じて
ほしいな

脱がしますよ？

いちいち
聞かないでよ……

スル

スル

じゅわ





あなた
奴との
つまら
セックス
忘れる
まで

それは
嬉しいな

たっぷり
抱きます
からね



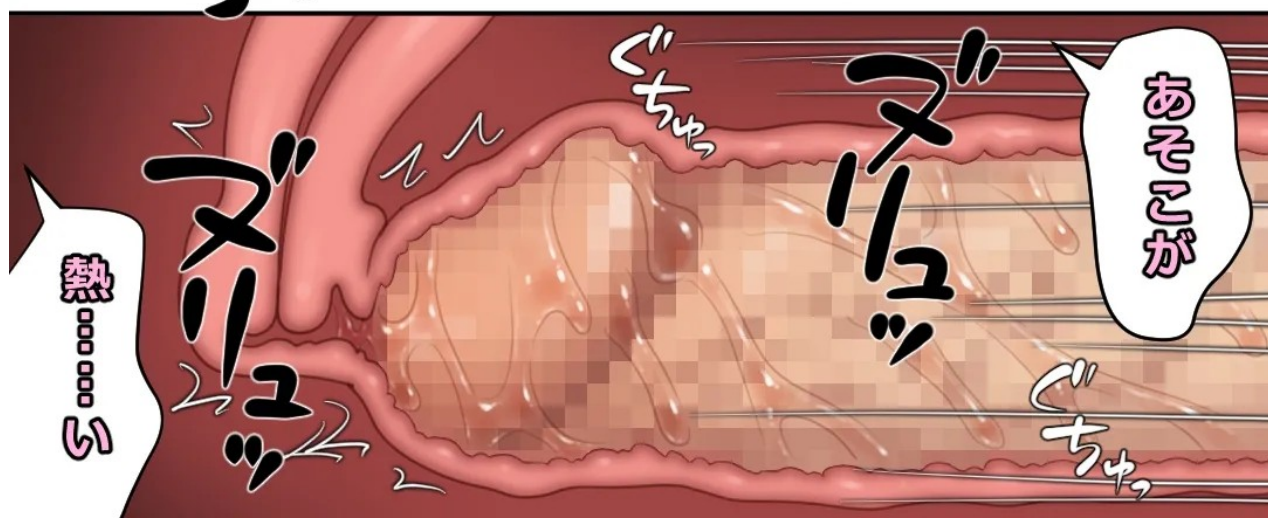
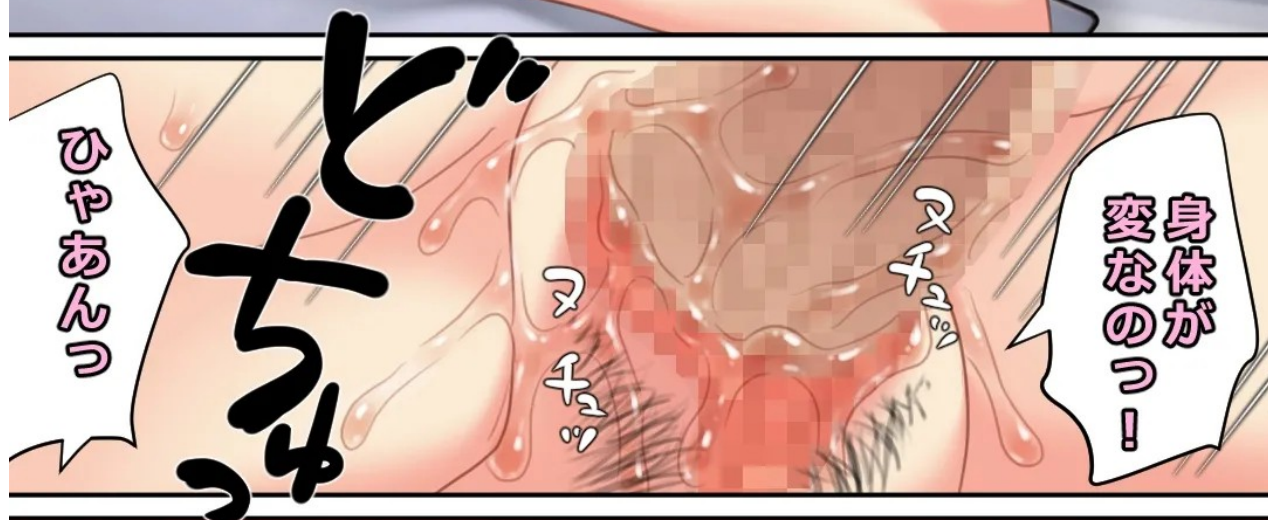
深く
入るよう
に

もっとお尻を
上げてくだ
さい

もう
一番奥に
当たって
るのっ！

うああっ！

深い！



こんな事になるんだったら

どつどつして
熱くて……

生々しい
肉の感触に
頭が変になる

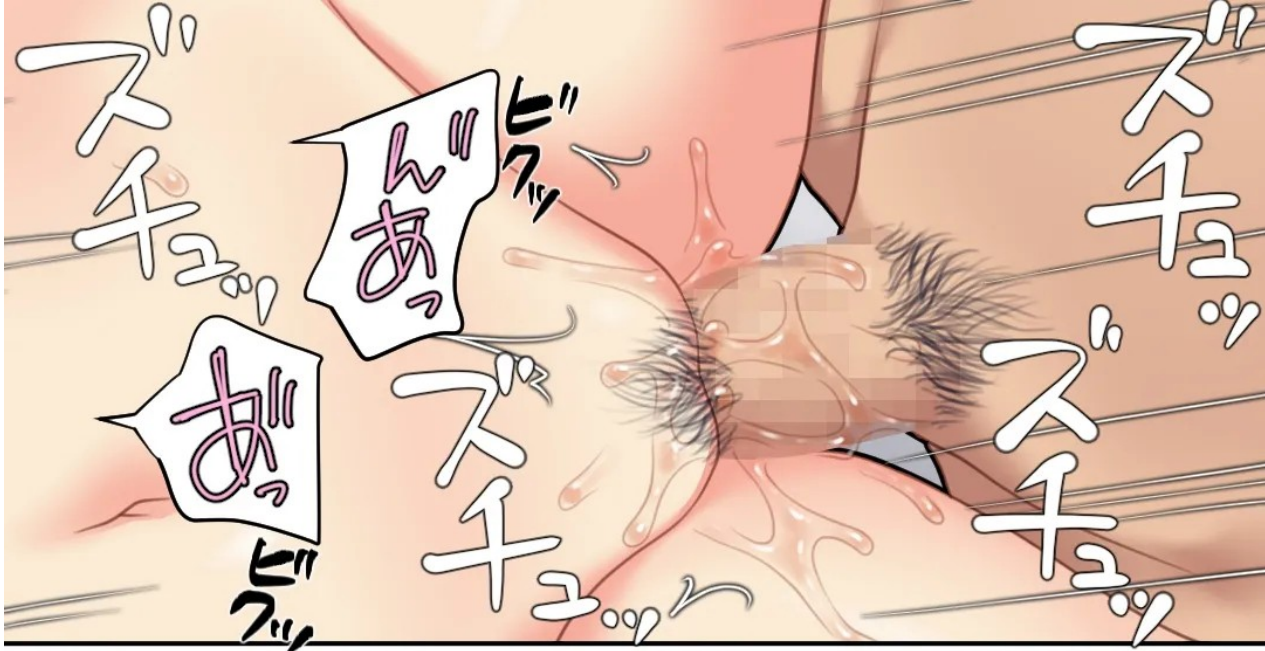
昨日みたいに
酔って
おくんだった

私……また
イカされちゃう











抜けちゃ……

あはあ

ド

ズン

ズン

もっと若い娘めの方が
なうて言われても

今までの恋人は

全員十歳以上は

年上でしたから

俺にとっては

普通の

ことですよ?

ええ



とあはとあて

複雑な

気分

だあ
い







どうして
そう強引なの？

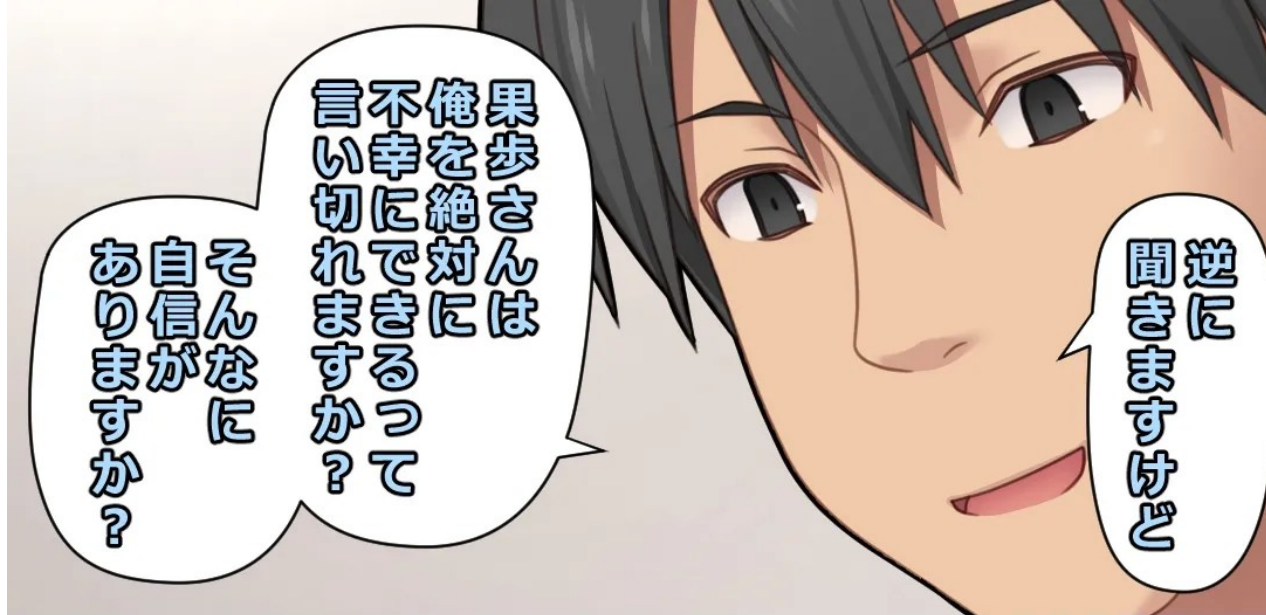
簡単に言って
くれるけど

私は既婚者
だからこそ
よく知ってるの

長く付き合えば
喧嘩だって
するし

たとえ……
結婚したって

幸せに
なれるとは
限らないのよ？



逆に
聞きますけど

果歩さんは
俺を絶対に
不幸にできるって
言い切れますか？

そんなに
自信が
ありますか？



……っ

あはは

開いた口が
塞がらない
つての
現実でも
あるんですね



果歩さんが俺と
結婚したく
なるまで

毎日何回でも
口説きますから
覚悟して
ください

ちゅ



お手柔らかに
お願いします

ふっ...

おわり

あとがき

お買い上げありがとうございます
ぱすとG の かまとりぽかりです

今回は家出した人妻との
同棲をテーマにした作品ですが

それと同時に
脅迫や快樂墮ちではない

この主人公らしい
『寝取り』を描こう
と考えてスタートした作品です

家庭内の不和で疲れ果てた人妻が

若くて実直で押しの強い
主人公に翻弄されて

戸惑う様子を可愛いく描けたと
思うのですが

皆さんにも楽しんで
いただけたでしょうか？

これからも
Hなコミック作品を
作っていきますので

サークルフォローや
作品評価など
どうかよろしくお願いします